

岩国地区林業士会が森づくり実践活動を実施

岩国地区林業士会の有志7名が令和5年2月28日（火）に第19回森づくり実践活動として岩国市六呂師の高照寺山グリーンパークにある「錦川水系漁民の森づくり植樹祭会場（漁民の森）」で除伐作業を実施しました。

岩国地区林業士会では、百年先の森林を見据えた先導的・模範的な森林整備を実施することを目的に活動しており、今回の活動で19回目の実施となります。

現地は平成14年度の錦川水系漁民の森づくり植樹祭において、指導林業士の指導のもと、市民の手により、ヤマグリ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラが1,500本植栽された約0.5haの山林です。

同所は、現在、土砂流出防備保安林、保健保安林に指定されており、また、生活環境保全林として、森林の持つレクリエーション等の保健、休養の場としての機能を発揮し、公衆の保健、衛生に貢献しています。

こうした都市近郊林では、定期的な林床管理（林床の常緑樹の除伐、必要に応じ主林木の間伐や不用木の除去）を行うことが必要なため、今回の実践活動に取り組むことになったものです。

当日は各自持参した刈り払い機で、約0.25haの除伐作業を行いました。

昼食時に、今後の活動等について協議を行い、指導林業士からは今後も地域の森林管理に貢献していきたいとの声が聞かれました。



作業中



集合写真